

人民新聞

発行所：人民新聞社

〒552-0023 大阪市港区港晴 3-3-18-1F
TEL (06)6572-9440
FAX (06)6572-9441
Mailto:people@jimmin.com
URL:http://www.jimmin.com
郵便振替口座:00950-4-88555

- ④ 沖縄の闘いはこれからだ
- ⑤ 自由貿易と食(上)
- ⑥ 「徳洲会」から始まる新たな医療と福祉
- ⑦ 3年たった「アラブの春」(チョムスキー)
- ⑧ 名護・稲嶺市長決起集会、他

コラムニストの【Mさん】 カーブこそコラム

「紙で文字を読む」こと自体が危うい状況で、「人民新聞」を出し続ける意義を考える必要があると思います。新聞発行の目的は、新聞を出している主体が、いろんな現場に足を運んで、運動をしている人たちの中に飛び込んでいって、経験や教訓を引き出すいわば「新聞活動」とでも言うべきものが重要だと思っています。できあがった新聞、文字としての新聞よりも、それを作り上げる「過程」こそが重要です。

今の大手新聞は、TVに縛られて既成組織化しているし、現場に行って記事を書くという活動自体が薄れていっているのではないかと。発想も情報もみんなネットから、という風潮になっている、と感じています。

人民新聞が、全国のさまざまな現場を引き受けている人たちのところに足を運んで、つないでいくことが、一番大事なところではないでしょうか。

取り上げるテーマは、自己暴露もあるし、政治的な問題もあるし、現場での人間関係について、ということもあります。「火炎瓶」の時代の「老」さんが書いていたように、コラムは、怒りや悲しみや喜びをストレートに伝えて文章を書かないと、短い文章で人に何かを伝えるのは難しい。もう一つは、それでも直球だけじゃなくてカーブを投げる投手のようにひねりもないと、読んでおもしろくない、と思っています。

ここに集まった皆さんの顔ぶれを見ると、「その意図は50年かかって見事に成就している」と感じました。次の時代を担っていく若者たちとの協働の場として新聞を作ったわけですが、そのとおりになっています。そんな発刊を担った先輩たちは、今ではほとんど鬼門に入られて、全共闘世代も引退を考える時期になっています。そういう時代だからこそ、これまでの「人民新聞」

(2ページに続く)

若い次世代の運動とどうつながるのか？

1500号を迎えて

50年後見据えた変革の構想

コラムニスト座談会

秘密保護法強行採決に続いて、靖国参拝をも強行した安倍首相。年頭記者会見でも改憲への強い意欲を示した。首相の強硬姿勢は、国会で多数派を握っている間に「やれることは全てやる」という刹那的態度の裏返しではない。実際、金融緩和と「覚醒剤」的財政出動による景気浮揚は、春までと言われており、「アベノミクス」の化けの皮が剥がれるのも近い。

時代を画する2014年新年号は、人民新聞コラムニストの座談会を企画した。創刊45年を経た人民新聞が、この激動を受け止め、人々の歴史をどのように刻み、重なりうるのか？を話し合ってもらった。座談会は、「50年先を見越した新聞作りを考える時期だ」というMさんの大胆な提起から始まった。日々現れる新しい主張と、若い活動家と、いかに結びつくかを長い時間軸で構想を語る時間となった。

(文責・編集部)

人民新聞が次の若い世代の運動と、どうつながるのか？どうつながっていくか？

考える時に、50年ぐらいの射程で、どんな人と、どんな新聞を作っていくのかを考えなければいけない時期だと思っています。人民新聞を創設した

人々は、学生中心に盛り上がっていた新左翼運動とどうつながっていくのか、日本共産党に対抗する社会運動、革命闘争を担っていく次の主体をどう作り上げるのか、という点を考えて、紙名も「新左翼」としてスタートした、と聞いています。

かつて、1だったわけならば4倍、5倍だ。農土と水と空気出すもので、手伝いをしているに過ぎない。だから生産が3倍にも4倍にもなるものではない▼「日本のコメは高い」と言われるが、40年前とまったく同じコメに、アメリカが勝手に3倍や4倍の値札を付けてけちをつけているようなものだ。工業製品やサービスと同じテーブルにつけること自体が問題だ。1ドル=80円が100円へと短期間で25%も変動するのだから、関税率をどうのこうの議論するよりも、変動相場制をどうするか議論した方がずっと生産的だ▼「アメリカの農産物が安い」と言うが、彼らの農地は全て先住民からただで強奪したものだ。土だけではない。彼らの農業は、水も強奪し、砂漠化を進める。循環型で持続可能な日本の農業とアメリカ型の農業をドルに換算した価値だけで比較すること自体が馬鹿げている▼異常気象が日常化し、近いうちに必ず食糧危機がやってくる。日本の農業をつぶすことは、地球規模で考えて、人類全体の損失である。(や)



ドルは360円で、90円なら産物は元来、と光が作り人間はそのドルは360円で、90円なら産物は元来、と光が作り人間はその

「敷居を下げる」という発想は、基本的に人をバカにしている。政治集会の企画者たちや、ある種の「芸術」の価値を人に教育しようとするものたちが、いわゆる「敷居を下げた」ところで、自らの政治的主張や芸術的趣味を人々に浸透させようとするのである。一人でも多くの人に訴えかけるために「敷居を下げる」というのである▼子どもに子ども向けのオモチャを与えるような、このような発想の愚劣さは何に由来するのか。それは、自らが権力的上下関係に頼ってしまっていることの無自覚といえるだろう。そもそも、そのような企画を立ち上げている人々自身が、かつてある政治的主張や芸術作品に感化され、動かされたとき、それらは決して「敷居を下げられた」ものではなかったはずだ▼なのに、かつて何ものかに動かされた者たちも、いざ、「人をいかに動かすか」という課題を前にしたとき、すでに確立された権力的上下関係(教える側と教わる側の関係)を基礎にして、高いところから低いところに薄められた価値を流してやる、という一番安易な発想から企画を立ててしまうのである▼そのような企画であっても、主催者の主観においては何らかの成功が得られることは大いにあるだろう。ただし、それが政治であれ、芸術であれ、もはやそこにあるのは、縮小再生産ではあっても創造的な運動ではない。(O)

年末、映画「ハンナ・アーレント」を観た。彼女がタバコを吸いながら思索にふけるシーンの多い静的な映画だ。雑誌『ニューヨーカー』にナチスのアイヒマン裁判の傍聴記を掲載し、イスラエルはもとより、全米、全世界のユダヤ同胞から激しい非難を浴びる経過が描かれている。映画のラスト、タバコをくゆらせながら、彼女が行った大学での講義の場面は圧巻だった▼アイヒマンは世界中どこにでもいる人間だった。思考を停止した普通の人間がホロコーストという惨事を生み出したのだ、と彼女は断じる。「凡庸なる悪」▼その主張は、「ナチスの狂気」を声高に叫び、イスラエル建国を正当化しようとするシオニズムを射抜く。悲劇の受難者を演じるシナゴグ(ユダヤ教の会堂)をも鋭く射抜いてしまう▼友人を失い、殺到する脅迫文にさらされながら、彼女は断言する。思考を停止した人間が生む非人間的行為こそが、全体主義の本質であることを▼2014年が始まった。日本は、株価と支持率だけに支えられた安倍政権の幼稚で危うい政治が続いている。戦争のできる国家を目指す彼の主張、大企業の利益を増やすことが国民の生活を守ることだという彼の主張を、1つ1つ、具体的行動でぶっつぶしていこう▼凡庸なる悪が社会にはびこらないように。思考せよ。体を動かそう。(M)

食べものとエネルギー問題を結びつける

がどういう役割を果たしてきたのか、を踏まえながら、「これからどんな新聞を目指すべきか」を話し合いたいと思っています。

◇

若い人たちは、インターネットを使ってどんなネットワークを作り、自分たちで動いています。アラブの春もそうです。原発再稼働反対では20万人まで集まった官邸前デモは、夏を越えると減少し、12月の衆院選挙では脱原発派がぼろ負けする、という経過を辿っています。つまり、街頭闘争だけで勝利は得られないということだと思えます。

「脱原発運動」は、エネルギーをどこから引っ張ってくるんだ、という政治経済の問題と、自分の食べものはどこで確保するか、という暮らしの問題が一体化して初めて、中央権力を打倒できるような闘争

となります。100万を超える人が立ち上がって、権力をひっくりかえしていくという、アラブ各国で次々と民衆が立ち上がってひっくりかえしていったプロセスが、日本でも起こる可能性は強くなっています。

◇M

「権力奪取」の中身が、曖昧になっている印象があります。権力奪取とは、食べものや日々の生活の人間関係の中にある権力的支配関係を、「今・ここ」でひっくり返す作業の積み重ねです。東京・永田町での政権交代や、エジプトでのムバラク政権退陣のような「政変」で社会が根本的に変わるわけではありませんし、それは本当の意味での権力奪取ではありません。生活の中に政治はあります。

街頭実力闘争を闘って権力をひっくりかえすという方針は捨てずに、「食べ物」と「エネルギー」への問題意識が根付いた中で、「こんな社会の仕組みは許せない」という若者の怒りは強く大きくなっています。生活の中に政治はあります。

街頭闘争も、基礎となる地域運動がなければ勝てません。首相官邸を20万人、50万人が取り囲んでも、運動のベースとなる地域を変えることが問題です。都市の消費者だけでなく、地域の中で生み出された自然エネルギーグループと、有機農業運動グループがき

【Iさん】有機農業と協同組合

プロフィール
と問題意識

私は、有機農業運動がライフワークになっています。有機農業を広げることを通じてこの国の仕組みをどう変えるか、という1点に絞った動き方をしてきたし、今もそうです。

有機農業をベースに、「たべもの協同社会」についても考えてきました。「民主主義と経済システムの矛盾を日々検証できる場」として「協同組合」が大事です。

有機農業に長く関わる中で、「どんな流通システムを作るのか？ 本当の協同に基づく経済システムとは？」を考え続けています。

地元の生協とも交流をしました。生協側も「地元の農業を支えよう」と、積極的に関わってききましたが、阪神・淡路大震災を契機に、「売上優先で、交流どころじゃない」という雰囲気になり、交流部門が廃止されました。そこから生協の売上至上主義に拍車がかかっていったように思います。日本生活協同組合連合会の消費者運動としての主導性は失われていきました。これと軌を一にして日本の消費者運動がなくなっていくわけです。この局面を有機農業運動からどう見るかは重要なテーマだと思っています。

【や】環境破壊を許さない

プロフィール
と問題意識

僕は学生時から「反公害闘争」に関わっていました。法学部でしたが、「反公害闘争」の拠点だった農学部で寝泊まりを続けていました。

当時から「反原発」だったので、反原発を掲げる「新左翼」「人民新聞」にもすんなり入っていました。僕が「人民新聞」に関わるようになったのは、各地で原子力発電所が作られていく頃で、取材を兼ねて、いろんな現地に行きました。「公開ヒアリング」で地元住民の意見を聞くのですが、「形式だけの嘘っぱち」ということで会場をデモで包囲したり、島根原発の時（80年頃）には、雪の中を徹夜で過ごした思い出もあります。

伊方原発（愛媛県）は、大学の若手研究者がこぞって裁判に協力したこともあって、全国の学生に呼びかけて愛媛大学で全国集会を開きました。翌日は現地に移動して、デモ行進でした。

今も、原発問題、環境問題、気候変動についてはこだわりをもち続けています。

【Aさん】脱暴力と組織

プロフィール
と問題意識

「脱暴力」を一番のテーマにしています。1965年に、左翼だった同級生に誘われて「日韓条約反対」デモ（東京）に初めて参加しました。このデモで警察にボコボコにされて、それから「左」になったというわけです。かつて私は右翼高校生でしたので、「なぜ自分は右翼思想に惹かれたのか」「なぜ左翼になったのか」を考えながらやってきました。

67年に大学の夜間部に入ると、高校でバリバリ活動していた連中が集まっていて、東京の高校生活活動家の同窓会みたいになっていました。当時、日本共産党が自治会を握っていたので、「自治会を奪い返そう」という話になって、教養部を奪い取ったのですが、党派闘争が激しくなって、私は撤退しました。

翌年、日大闘争が始まりました。組織決定で文理学部に配属になり、田村正毅とコンビを組んで、日大全共闘に関わるようになりました。

その当時は、「大衆運動」とか「暴力」について考える機会も多く、日大は右翼から全共闘運動に参加してくる学生もたくさんいました。鹿児島出身の空手選手で、その後「爆取」で捕まった学生もいました。

当時の日大は、働く学生の大学でした。全共闘も勤労学生を抱え込んだコミュニケーションのようになっていて、楽しかった思い出があります。東大闘争にも参戦しましたが、神田のデモで機動隊に腹を撃たれて、3カ月間入院することになりました。

退院後、横浜中華街にある中国人の店で療養させてもらって、69年春から「関西に行け」という組織方針で、京都大学のバリケードに入りこんで、3カ月間生活していました。

それから大阪に来ましたが、所属組織が玉砕路線を取り、壊滅。残ったメンバーで「どうしよう」と話をしていました。中核とドンパチやっていたので、「身を守るために釜ヶ崎に行こう」ということになりました。男たちは釜ヶ崎で日雇いをし、女たちは釜ヶ崎周辺の食堂で働くことになり、共同生活を送ることになりました。これが、私の釜ヶ崎との関わりのはじまりです。1972年に組織が解体して、私はそのまま西成に残り、釜共闘に参加しました。

それまで私は、グバ棒を渡された時や、「銃口から政権が生まれる」とする毛沢東の言葉に抵抗を感じながらも、自分を納得させてきましたが、釜ヶ崎の運動やパートナーとの関係から「暴力」というものを考え始めるようになりました。

もう一つは、「組織」についてです。ずっとアナーキーな性格を持ちながら組織に参加してきて、組織の中核的な地位を経験していく中で、さまざまな人たちの内ゲバも見えてきました。今は無所属ですが、組織と個人、運動の進め方について考え続けています。これらの内容は、「人民新聞」での連載を『脱暴力を呼びかける』（2007年）というパンフレットにまとめています。

動で世の中は変わらない」ということが見えてしまっているからではないでしょうか。

◇

その通りだと思う。かつて「新左翼」は、創刊号で「平和から反戦へ、反戦から反帝へ」というスローガンを掲げていました。政治化することに価値

値がおかれた時代です。

当時は「権力を打倒するた

めに、もう一度地域に入る」という我々の世代の戦略は妥

当性を持ちえたと思います。

しかし今は、その問題意識だ

けでは難しくなっています。

日々の暮らしの中で「反権力

といった場合、たとえば「脱

原発」ひとつ取ってみても、

かつて実力闘争が闘われた伊

方ですら「再稼働反対」を言

えない雰囲気になっていま

す。福島も「放射能による健康被

害」なんて言えなくなってい

る惨憺たる状況です。それが

今の権力状況です。

ここでせめぎ合うためには、

どうするか。それは例えば、

西日本から送った有機野菜を

並べて、八百屋を作つて、「野

菜カフェ」という名前をつけ

て、机といすを置いて、子ど

も連れで来たお母さんが、知

らない者同士だけど隣り合

わって座ってお茶飲んで、情

報交換をするというところか

ら始まると思います。権力との闘いを「どこで組織するか？」という視点で議論されるべきだと思います。

権力の網が、私たちを縛り

付けて、職場でも地域でも、

言いたいことが言えないよう

な社会がすでに実現していま

す。「秘密保護法」の世界も

う現実になってしまっている

のです。

「言いたいことを言うよう

感じています。

紙媒体とインターネット情報を

結びつける

紙媒体とインターネット情報を

結びつける

結びつける

結びつける

結びつける

結びつける

結びつける

できたと思います。実生活での信頼関係が基礎にあつて、情報伝達の手段としてインターネットが意味を持つものだと思います。

◇H

若い世代で、紙の新聞を取らない人は、本当に増えています。ネット情報は、アクセス数だけで上位下位が決まるので、大事な情報を見逃してしまします。紙の新聞は、全体を見渡せるので、必要な情報を得やすいし、事の軽重も判断しやすい、というメリットがあります。

若い世代で、紙の新聞を取

らない人は、本当に増えてい

ます。ネット情報は、アクセ

ス数だけで上位下位が決まる

ので、大事な情報を見逃して

しまします。紙の新聞は、全

体を見渡せるので、必要な情

報を得やすいし、事の軽重も

判断しやすい、というメリッ

トがあります。

プロフィール
と問題意識

【Hさん】主流秩序をラディカルに問う

僕は1958年生まれです。中学生の頃『社会主義入門』を読んで、「合理的な考えでいいな」という感想をもちました。自分の生きがいや興味・関心はその辺のことか、と思ったので、経済学部に進みました。

社会科学研究会や障害者解放研究会などに入って、「青い芝」と関わり始め、介護にも行くようになりました。

バブル崩壊後、大学で労働問題を研究しながら、「どうやったら労働運動を再建できるか」という研究をやっていました。しかし、現実の大企業労組主体の労働運動には期待をもつことができず、個人加盟のユニオンに注目するようになりました。

個人加盟のパート労働運動をやっていた女性たちとの関わりが中心になりました。1993年に大学で職を得てからは、トヨタ生産システムのように、資本が労働者の「やる気」をうまく引き出しながら体制側に刃向かわせないようにさせる仕組みが労働運動をダメにした原因だ、ということ、フェミニズムに重点を置きながら、本も書くようになりました。

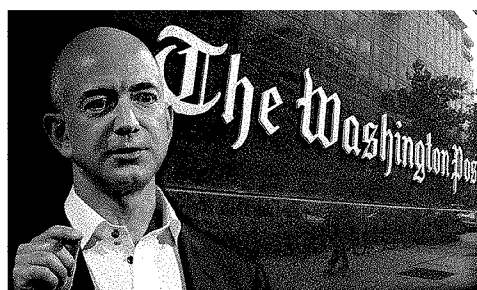
大学に就職するまでは、就職するために論文を書かないと思って首根っこを掴まれている感じがやはりあったのですが、93年に就職できて、最初は「安定した職があるから好きなことができる」「自由にやっていきたい」と思っていたのです。でも、98年頃には「そろそろ大学やめようかな」と思うようになりました。徐々に収入も増えて、労働問題に関する本も書いて、このままやっていたらリベラル系の学者として食べてはいけるだろう。でも先輩の研究者を見ても、それで有名になったりメディアに出るだけで、現実は何も変わらない。「それが本当に自分のしたいことなのか」と考えるようになりました。左翼とか労働組合も含めて、勇ましいことを言っているけど、収入が高く、結婚し、車を買って、子どもに受験とかさせていたら、「言っていることとやっていることが違う人生になる」と思うようになりました。僕は『主流秩序』と呼んでいるんですが、その意味で大学教員というのは居心地が悪くなったわけです。

大学を辞めるにあたっては、留学制度を利用して、スウェーデンに1年、国内留学で半年、好きな研究に打ち込みました。2000年頃に緑内障になったこともあり、無理もしたくなかったので、2004年に大学を辞めました。

フェミニズム系の運動をやっていましたが、小泉改革の影響で、フリーター運動が盛り上がってきていました。個人加盟のユニオンですが、若者系の方が面白そうだと興味をひかれて、「ユニオンぼちぼち」に一組合員として加盟しました。

年をとってきたし、勇ましくものを言うことへの抵抗感をもつようになり、自分の考えを、「スピリチュアル・シングル」と表現していくようになりました。「自立した個人として、物事をラディカルに考え続けたい」という生き方です。ここから、暴力や、金、名声ということも考えることになって、「自殺防止センター」の電話相談員としても活動するようになりました。

その頃から、個人の相談を受けて、小さな問題だけど現場で解決していく、ということに重点を移すようになりました。今は、DV防止教育、セクシャルマイノリティーの相談、貧困の相談、男性のDV加害者からの相談、加害者教育プログラムというものが中心になっています。



▲ジェフ・ベゾス

影響力拡大にはネット発信強化を

◇や
つい最近「アマゾン」(米の大手インターネット通販会社)の創始者が、「ワシントンポスト」を買収しました。そのジェフ・ベゾス氏は、「紙

の媒体の最大の問題は、読者が読みたいものがないのをたくさん書いた上で、金を払わせることだ」と語っています。彼らは、自分の必要なものだけ読めたらいいわけです。

でも新聞の面白さは、いろんな記事が並んでいて、ふと目にとまって読んでみたら「あ、おもしろい」というところでしょう。インターネットの検索機能では、そんなことはできないし、せいぜい「ヒット数が多い記事」を読むぐらいしかできません。

◇A
すっかりした中身のフリーペーパーも発行されています。購読料がないので広告収入だけですが、記者を4人抱えて、地域話題を掘り起こし、議論を巻き起こしてもいいです。取材活動自体が、地域活性化

に役立っているのです。こうした方向もあり得ます。

◇H

影響力拡大を重視するのなら、ネットに踏み出すことは必須条件だと思えます。いい情報は、みんながコピーして勝手にばらまいてくれます。紙媒体で出している情報も含めて

◇編集部

紙による発信は続けますが、ネット発信は強化する必要があります。ただし、ネット発信は金にはならないので、紙媒体の購読料は、協力支援金という意味合いが強くなるかもしれません。それでもお金を払ってくれる人をどう広げるか、広げたいと思います。

「関係づくり」を軸にした新聞活動を

――大所高所から世の中を語るのではなく、現場に足を運んで記事にしていこう「現場主義」が人民新聞の基本です。編集体制については?

◇M
編集部を中心とした放射線状の関係ではなくて、現場で運動し、生活し、関係を作っている人との関係を、重層的にどう作っていくか、だと思います。現場の人と信頼関係を作り、生の声が人民新聞に反映されることで、運動現場

自体も広がりがもてるようにすれば、協力を得られると思います。国際面では、中国の原稿を書いてくれている人は、現地で日本語教師をしていたり、イスラエルに暮らしながら、

パレスチナ問題を考えている人とか、海外は割とそういう関係ができつつあるように思います。ただし海外の記事、特にパレスチナの記事は人民新聞の特色でもあるけれど、関心のある人は注目するけれども、興味のない人は読んでくれない、という現実もあります。

いずれにせよ、人民新聞は「情報を売る」のではなく、「関係づくり」に興味をもち共感してくれる人々をどれだけ広げられるかです。そうした人々との関係を厚くしたら、結果として新聞の中身も充実していくと思います。

もう一つは、大震災と原発事故が、日本社会全体の大きな動きを生み出していると思います。誰もがものを考えるようになったし、自分なりに社会とどう向き合うのか、を迫られています。日常生活は繰り返されていくけれども、それぞれ何かを考えながら積み重ねています。

日本全体の意識は大きく変わり、今も続いています。そういう時代だからこそ、意識的に、きちんとこちらから働きかければ、展望は見えてくると思います。

(4面下に続く)

2014年 今年も共に頑張りましょう!

有限会社
協同総合保険

〒562-0033
大阪府箕面市今宮三丁目一七番二号
電話(072)七二八―五五八六
FAX(072)七二八―二八六六

一水会

代表
木村三浩

〒161-0033
東京都新宿区下落合一―二―五
電話(03)三三六四―二〇一五
FAX(03)三三六五―七一三〇

地域から協働社会を創造するため
情報交流と理論作業に努めます

地域・アソシエーション
研究所

〒567-0827
茨木市稲葉町四―五―三階
電話(072)六三〇―五六〇七
FAX(072)六三〇―五六七三
E-mail: local-association@groupemail.ne.jp

小河茂樹

原発のない社会を皆の力で実現しよう!

(株)産地直送センター

大阪府箕面市西宿二―一五―六
電話(072)七二七―七七八〇
FAX(072)七二七―七〇五〇

(株)よつ葉ホームデリバリー京滋
代表取締役

光久健太郎

京都府久世郡久御山町市田石橋―三
電話(0774)二一―八一七〇
FAX(0774)二八―〇三一九

仲井真沖縄県知事 辺野古新基地埋め立てを承認

沖縄の闘いはこれからだ

座り込み・住民訴訟・意見書採択…

沖縄・読谷村 金城 実(彫刻家)

知事の猿芝居

にうんざり

昨年12月27日、仲井真沖縄県知事の「辺野古埋め立て承認」は、沖縄の近現代史に何を刻もうとしているのか。

その日私は、県庁包囲行動に参加するために、那覇市に向かつて走り出していた。出発直後、「集団強制死」が起きたチビチリガマ(読谷村)の近くを通っていた。サトウキビ畑は強風と雨に叩かれて、死者たちの声が聞こえてくる気がした。平穏さを失いかけていたのは、沖縄戦の記憶と、

辺野古新基地建設への未来の戦場化への危惧と、私の過去の戦争体験からだった。

県庁舎に着くと、赤いプラカードや旗、ゼッケンには「不承認」「屈するな」の活字が並

間ぶりに帰沖した25日、「27日

名護市長選

決戦勝利へ



▲キャンプ・シュワブのある辺野古

「知事は公舎に身を隠している」との情報で、われわれ約100人は、ロビーでの集会から抜け出して、公舎に走った。公舎の入口では、警官隊と県職員が立ちどかっていた。直ちに座り込みと抗議だ。公舎の敷地には保育所があった。時折保護者が車で出入りしている。車が通るたびに県職員・警察官との小競り合いが起きた。

公舎での記者会見は、自民・公明の与党県議とメディアのみ。革新系県議は排除されたまま、その図は、まさに理性を失った知事の異常さを表すものだった。

県職員・警察官とのにらみ合いは続いたが、さすがに時間を経つと、疲れが出てきた。公舎に集まっている人たちは

の記者会見で『辺野古埋め立て承認』を発表する」との情報が伝わった。県庁前は「不承認を!!」という知事への激励から、一転して糾弾会となり、「裏切り者」の言葉に変わった。

「屈しない」とは、安倍首相や政府の脅迫に負けないということだ。オール沖縄の声に後押しされて、知事は再度「辺野古は不可能」と首相・政府に伝えに行つたはずだった。

しかし、知事は東京で体調を理由に入院した。なぜ一週間も東京にいたのか。知事自身も入院中も密かに病院から抜け出して、「政府側と接触してい

た」と認めている。

仲井真知事が何を持ち帰るのか、県民の緊張は頂点に達していたが、27日の「埋め立て承認」の記者会見を前にし、民衆の怒りは止めようがないところに達していた。雨や強風の中での抗議は、県庁舎ロビー占拠に発展した。

危険があつたとしても抗議団に説明すべきであり、それを品格という。自分の身内だけで記者会見するとはどういうことか! 知事の品格のなさに、県民の一人として恥ずかしい限りだ。

記者会見が終わると、黒い車が出てきた。抗議団との激しい闘いが起きた。逃げられたと思つたが、追いかけて車を止め、その車の上に一人の若者がよじ上つて、ステップを踏んだ。若者は警察に連行されたが、すぐに釈放された。

開口一番、警備の指揮を執つていた県職員と警察官ら、黒い背広を着て、耳にイヤホンをつっ込んで上官に向かって、指を指して訴えた。

「よく聞け! あなたたちの職業は立派だ。しかし、ここに立つていられるのは、祖父母が沖縄戦の鉄の暴風から生き延びたおかげであることを忘れてないかい! 君たちがかくまっている知事は、身の

(3面より続く)

「脱成長」のいろいろな形

◇H

現代社会は、経済の呪縛が強すぎます。マスコミも「アベノミクス」みたいなものをもち上げてしまふ。だから、「脱成長」といっても少数派だし、人民新聞で取り上げた時もセルジュ・ラトゥーシュ

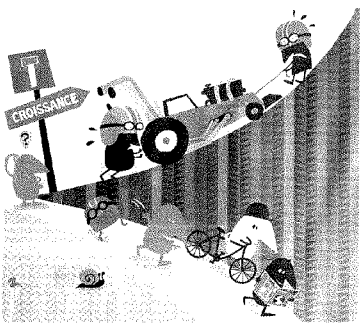
が来日した時に紹介した程度で、後が続きませんでした。日本における「脱成長」は、地に足がついていないのが現実です。

毎日新聞でも「脱成長」の連載をやつていましたが、些末なことしか載つていないのです。有機農業や農的暮らしをやるうという若い人々は、少ない収入だけど、自分で食べていくという指向性をもっています。これも広い意味で「脱成長」への指向であり、大事なことだと思います。

ただし、みんなが農業ができるかと言えば、無理です。農業はかなりの能力がないとできません。「脱成長」と言っても、フリーターは100円ショップなしでは生活が成り立たない。だから、みんな田舎に行つて農業やつたらいい

る要件が欠けている」として、国の承認申請撤回や県知事への不承認を求める意見書を発表している。

辺野古現地の座り込みも、休むことなく続けられている。当面の大決戦は、この1月19日の名護市長選である。いずれにせよ、闘いはこれからである。皆さんも注目してくださいよ! (8面に関連記事)



成長? 脱成長?

というのは、無理な方針だと思ひます。若者の新規就農は大賛成ですが、都会のフリーターが農業や「自給自足」にどう接続できるのか、みたいな提案があつたらおもしろいと思います。

「脱成長」を掲げて大きく主流秩序を見直すのなら、肉食の問題、ベジタリアンの問題も世界的には大きなテーマです。他の人とぶつかる面もあるし、難しいですが、ウォール街占拠の闘いでも、このテーマは語られていました。

ヨーロッパの社会運動をやっている人の中では、ベジタリアンがかなりいるし、収入が低いから「少ない消費で暮らす」ことは、当たり前の選択

昨日、レズビアン雑誌を読んだのですが、とてもおもしろいのです。「レズビアンは、身体のだこに興味をもっているか」といった記事が載っているのです。胸が一番なんだそうです。

その業界はその業界の中ですごく豊かなものをもっている、おもしろいです。例えば、そういう人にレズビアンの歴史を書いてもらったらおもしろいと思います。

専門雑誌では日本のレズビアン歴史なども特集していますが、ほとんど知られていません。私はフェミニズムに関わっているから、その一部は知っているんですが、日本にはいろんな運動があちこち

肢になっています。環境運動、アニマルライツやフードバンクもあるし、そういうものと絡まって、肉食の問題を提起しています。この点、日本は左翼も含めて弱く、やっている人が排除されたりしています。

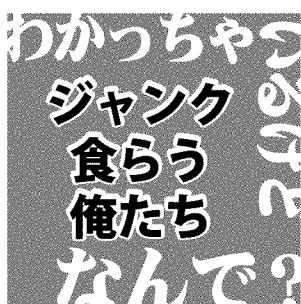
生きていくスタイルとして、大量生産・大量消費への対抗として「脱成長」を訴える場合も、そういう切り口で、世界のベジタリアンの運動がどういうもので、なぜ日本で見えていないのか、取り上げればおもしろいと思います。これは利権が絡まっているし、「肉はうまい!」みたいな話ですから、マスメディアでは絶対に取り上げないテーマです。言っていることはかなりおもしろいので、もっと紹介して欲しいですね。

にあります。それを知りたいな、と思います。フェミニズム系や反貧困系でも、「人民新聞」っていういい記事が載つていても、「あれは左翼の新聞だ」というイメージがあるので、「こんなものもあるのか」みたいな意外性のある記事を読みたいいな、と思います。

有機農業運動のお話が出ていましたが、非常に興味深かったし、協同組合の話にしても、実態や展望についてよく分かりません。個人の取り組みだと非常に小さく見えてしまうので、大きな流れの中での現状とか、問題点とか、展望について書いてもらえたらいいですね。(次号に続く)



「辺野古埋め立て承認」に抗議して県庁ロビーを占拠

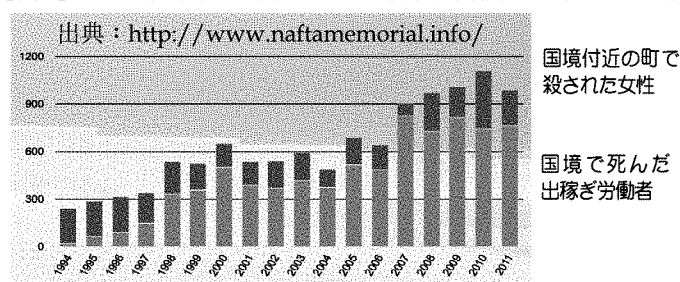


連載コラム⑦ 食料政策研究家 平賀 緑

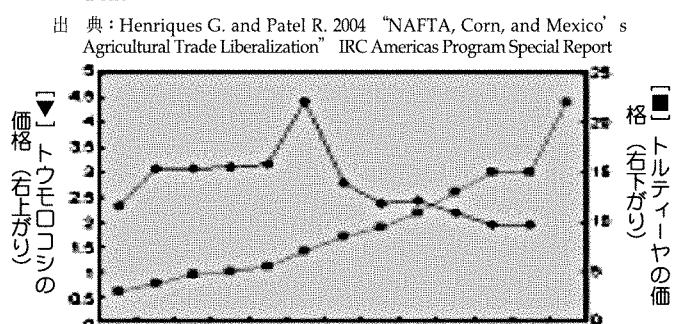
自由貿易と食 (上)

北米自由貿易協定 (NAFTA) 後の メキシコが肥満大国になった理由

【図1】NAFTA 発効後、米国・メキシコ国境／国境付近で死亡した人数



【図2】NAFTA 後、トウモロコシの価格は下がり、トルティーヤの価格は上がった



自由化と規制緩和が、よ

貿易自由化は、供給さ
れる食品の種類や量、価
格に影響を与えることで、
人々が選ぶ食生活に影響
を与える。つまり、貿易
自由化と規制緩和が、よ

自由化と規制緩和が、よ

貿易自由化は、供給さ
れる食品の種類や量、価
格に影響を与えることで、
人々が選ぶ食生活に影響
を与える。つまり、貿易
自由化と規制緩和が、よ

自由化と規制緩和が、よ

貿易自由化は、供給さ
れる食品の種類や量、価
格に影響を与えることで、
人々が選ぶ食生活に影響
を与える。つまり、貿易
自由化と規制緩和が、よ

自由化と規制緩和が、よ

貿易自由化は、供給さ
れる食品の種類や量、価
格に影響を与えることで、
人々が選ぶ食生活に影響
を与える。つまり、貿易
自由化と規制緩和が、よ

自由化と規制緩和が、よ

貿易自由化は、供給さ
れる食品の種類や量、価
格に影響を与えることで、
人々が選ぶ食生活に影響
を与える。つまり、貿易
自由化と規制緩和が、よ

自由貿易協定で打撃を受け
るのは農家だけではない。現
在の協定は、投資の自由化や
規制緩和に伴い、消費者の食
生活にも大きな影響を与える。
北米自由貿易協定 (NAFTA)
が発効から20年。その間
に米国を超える肥満大国へと
変貌したメキシコが、身をもっ
て実例を示している。そして
今、NAFTAを雛型にTP
Pなど複数の貿易協定が目白
押しだ。

NAFTAがメキシコに及
ぼした影響についても、いま
で注目されたのは、トウモロ
コシ農家の大量失業だった。
確かに、トウモロコシが主食
で原産地でもあるメキシコ農
民にとって、米国産トウモロ
コシの流入を許したNAFTA
は大打撃だった。

長年、農業機械や肥料、貸付
輸送などさまざまな形で政府
が補助してきた米国のトウモ
ロコシは、生産コスト以下の
価格で販売されてくる。例え
ば2002年には、米国産ト
ウモロコシの生産コストは1
ブッシェル (約25・4キ) あ
たり2・66ドルだったのに、価
格は1・74ドルだったという。「自
由」貿易と言いつつ、手厚
く保護して補助金で安く抑え
た米国産トウモロコシが流入
し、メキシコではNAFTA
の影響で130万人の農民が
失業した。生活できなくなっ
た農民が都市に流入し、産業
労働者の賃金は10%下落 (注
1)。また、メキシコから米国
に出稼ぎ者が流入し、低賃金
の労働状況も悪化させた。

NAFTA発効と同時に、
国境の軍事化が進み、命を落
とした人も多い。図1のグラ
フが示しているように、米国
への国境を越える際に命を落
とした人は、1994年から
急増している。NAFTA発
効20周年の正月、米国・メキ
シコ間の国境近くには、デモ
ンストレーションとして20本
の黒い旗が揚げられた。「自由」
貿易協定はマネーとモノの流
入は許しても、人の移動は許
さない。

「自由」貿易や「自由」市場
競争は、食料を確保し食費を
下げるため、消費者にとって
恩恵だ、とよく言われる。TP
Pでも似た論調は聞き覚え
あるだろう。

しかし、安価な米国産ト
ウモロコシが流入してメキ
シコの農家を失業させたこ
ろ、製品であるトルティーヤ
の価格は、逆に上昇した (図
2)。1994年に0・5ペソ
だったトルティーヤの価格は
31・8%の米国を追い抜き、
OECD諸国の中で一番の肥
満国へ変貌したことを示した。

肥満は、見た目だけの問題
ではなく、命を落とす疾患に
つながる。メキシコでは、成
人の7割が太りすぎか肥満
6人に一人が糖尿病を患い、
そのために年間7万人が命を
落としているという。

「自由」貿易や「自由」市場
競争は、食料を確保し食費を
下げるため、消費者にとって
恩恵だ、とよく言われる。TP
Pでも似た論調は聞き覚え
あるだろう。

しかし、安価な米国産ト
ウモロコシが流入してメキ
シコの農家を失業させたこ
ろ、製品であるトルティーヤ
の価格は、逆に上昇した (図
2)。1994年に0・5ペソ
だったトルティーヤの価格は
31・8%の米国を追い抜き、
OECD諸国の中で一番の肥
満国へ変貌したことを示した。

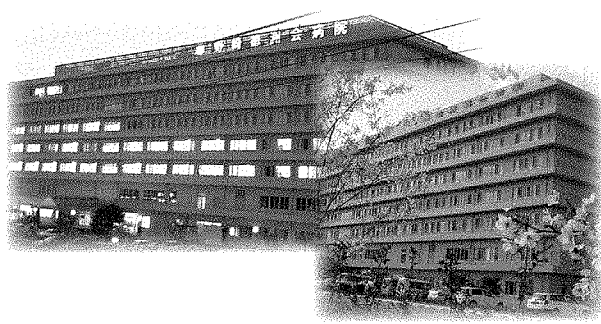
肥満は、見た目だけの問題
ではなく、命を落とす疾患に
つながる。メキシコでは、成
人の7割が太りすぎか肥満
6人に一人が糖尿病を患い、
そのために年間7万人が命を
落としているという。

肥満と飢餓の共存。これ
も残念ながら今日のフー
ドシステムでは珍しくな
い。

肥満の蔓延には「肥満
を促す環境」が影響して
いることは認識され始め
ており、メキシコの例か
ら、肥満を促す環境は輸
出されることが注目さ
れ始めている。

貿易自由化は、供給さ
れる食品の種類や量、価
格に影響を与えることで、
人々が選ぶ食生活に影響
を与える。つまり、貿易
自由化と規制緩和が、よ

自由化と規制緩和が、よ



2014年は医療法と診療報酬の改定の年になります。改定の目玉の一つが「既存医療法人の合併を促す『ホールディングス』化」ですが、4月を迎えると医療業界、介護業界の再編が一気に進むことになりそうです。

地域医療への理念ゆがめた「権力志向」

しかし、高い志で地域医療を作り上げた彼の理念は、徐々に「権力への志向」という形で歪曲されていきました。自身の政界進出や、息子や娘を4～5年の浪人期間を経ながらも医学部に進学させ、また地方に点在する経営の悪化した医療法人との度重なる合併と統合など、「生命だけは平等だ」という彼の銘句からは程遠い姿へ向かったのです。その「到達点」というか象徴的な存在が、息子の徳田毅衆院議員でしょう。

徳田虎雄にとって権力への接近は、当初「この国の医療を根底から変えていきたい」という志に発するものだったのでしょうか。彼の意志と情

熱に賛同する医療関係者、政界関係者が多い一方で、既存の医療関係者、特に日本医師会から疎まれていたのも、また事実です。

例えば、救急（2次救急）医療における無条件な受け入れの表明などは、画期的である一方、病院経営で人員確保に過度な負担を強いるため、日本医師会が後に続く医療機関をけん制しようとした話などは有名です。

徳田虎雄にとって、こうした医療機関の矛盾や既得権益の解消が、この国の医療再生に絶対必要であることは自明で、最大の課題でもあったわけですが、自身の政界進出の契機でもありました。

その意味では、今回の東京都政から発した疑獄が、単に徳田虎雄自身の劣等感と、社会における「医師として承認されたい」という欲求に端を発するものであるとするならば、大変残念です。

このままでは、これまでの医療法人としての拡大や統合、彼の下に集った医療関係者の想いは、彼自身の自慰的な活動の結果に過ぎなかったことになってしまいます。

徳田虎雄が統合した法人とその病院の中には、地方における地域医療を支えるものが多数あるからです。

繰り返しますが、今回の疑獄は、東京都政の不始末に留まらず、地方における地域医療の存続を問いかねないものです。仮に、徳洲会の各事業が後継の医療法人を求めたにしても、この国の医療法人は

国の介護事業者へ分割・譲渡されました。

7年の時を経て、今度は「主なき」徳洲会が解体されていくことになるのでしょうか。

彼が統合した法人とその病院の中には、地方における地域医療を支えるものが多数あります。前回介護業界で生じた当時の経緯を見ると、再び政府／官僚主導で巨大な医療法人群が、各地域へと分割され、再出発していく姿を想像せざるを得ません。早ければ4月以降に表面化するでしょう。

そもそも、徳洲会は何を間違えてしまったのでしょうか。そして、この問題から浮かび上がる問題は、猪瀬前知事への資金供与だけなのでしょうか。

経営的に疲弊している法人がほとんどで、手を挙げるに挙げられないという状況です。

徳洲会が280を数えるという全国すべての医療法人や関連企業の運営から手を引かされることになれば、双頭蛇のように無秩序に動き回る混乱だけを起しかねません。

徳洲会が形を変えて残るとしても、現在の法人複合体は消滅していくでしょう。返す返すも、この国の医療は理想や思いだけでは変えられないという、普遍に近い教訓を徳田虎雄は残したと言えます。



＊
(文中敬称略)

【参考文献】

・2013年11月22日 社会保障審議会医療部会 資料

・「生命だけは平等だ 医療一揆編」(上／下) 1998年1月道出版

・『日本インディーズ候補列伝』2007年7月 大川

豊 扶桑社

徳田虎雄の苦勞こそ「徳洲会」の原点だった

徳田虎雄の苦勞こそ「徳洲会」の原点だった

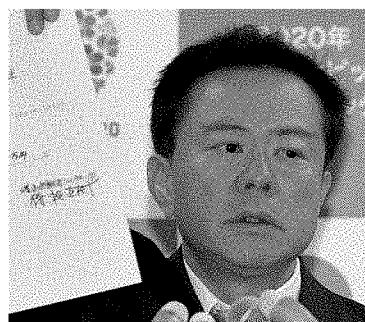
ここで私は、2007年に湧いて出た「コムスン事件」を想起します。当時、全国最大の介護事業者だったコムスンは、不正に基づく運営の処罰として、折口雅博前主要幹部の排除に加え、事業体そのものも政府／官僚主導で、全

か。今回の経緯を丁寧に捉えることは、再びこのような過ちを起こさないためにも、大切な作業です。

徳洲会の理念・原点は、徳田虎雄自身の苦しい出自と、医療にかける並々ならぬ情熱にあったはずで、鹿兒島の貧しい家庭で生まれ育ち、自らの手に筆記具を突き刺しながら睡眠と闘った末に大阪大学医学部に進学。医師となつた彼の姿に、畏敬の念を抱く医療関係者は今も多いはずです。小紙読者にもファンであつた方も多いでしょうし、「徳洲会の関連病院に入院していた」という関係者の報告を耳にする機会も多くあります。



60 「徳洲会」から始まる新たな医療と福祉



徳洲会グループがバラまいた「裏金」は猪瀬前都知事の政治生命を絶った

「戦争する国」絶対反対!!

高木りゆうたと共に歩む会

〒569-0065 大阪府高槻市城西町三ー一
電話 (072) 六七五-三七七
FAX (072) 六七五-三二〇〇

〒522-0223 滋賀県彦根市川瀬馬場町一六八ー四
電話 (0774) 二八七-七六〇三
FAX (0774) 二八七-七六〇五
E-mail hikone@eatoc.ne.jp

食の環境と暮らしを考える
有限会社 近江産地直送センター
代表取締役 井上 陽志

〒614-8142 京都府八幡市下奈良南頭一八番
電話 (0775) 九七一-五五〇三
FAX (0775) 九七一-五五〇四

株式会社 現代書館
東京都千代田区飯田橋三ー二一五
電話 (03) 三二二-一三二一
FAX (03) 三二二-五九〇六
http://www.gendashokan.co.jp/

脱原発・反TPP・秘密保護法廃止

行者 芳政

(有)よつ葉ホームデリバリー京阪
代表取締役 山 森 優

謹 賀 新 年 今年もよろしくお願ひいたします

3年経ったアラブの春

ノーム・チョムスキー

(2013年11月 「Nspace Page」)

アラブの春が始まってから3年が経過、中東地域は自由選挙から暴力的弾圧まで万華鏡のような劇的展開を繰り返しています。現時点で、「アラブの春」をどのように説明されますか。

チョムスキー(以下、C)：以前私は「アラブの春」を「進歩へ向かう作業」と表現しました。しかし、残念なことに今では、「後退への作業」と表現せざるを得ません。

石油独裁資本が、穏健な改革努力を抑えつけるのに成功しました。シリアは、自殺あるいは国家分裂へ突き進んでいます。イエメンは、オバマの無人機によるグローバル・テロ戦争の従属分子。チュニジアは、一種の監獄状態。リビアは、武装部族や民兵集団

に振り回され、政府の統治は無力。アラブ世界の大国エジプトでは、軍が残忍な暴力で支配し、それを民衆が支持している有様で、とてもない間違いです。軍と軍が後押しする「民」傀儡政権は、蜂起で得た言論の自由や自立などの重要な成果を水泡に帰し、厳しい非人間的支配と経済帝国を回復させようとしています。どこを見ても良い徴候は見えません。

そのうえ、米英のイラク侵攻が駆り立てたスンニ派—シリア派対立が、イラクをズタズタに引き裂き、中東全域に広まっていく不気味な情勢になっています。

アラブ世界には、事実上植民地状態の地域が二つあります。一つは西サハラで、2010年後半の民主化闘争が厳しく弾圧され、自由を求めるサハラウィ人の闘いは今や忘却の彼方に置き去りにされています。

もう一つは、言うまでもなくパレスチナです。現在交渉が行われていますが、それは、①不法入植地拡大を制限しないこと、②米国の主導と管理のもとでの交渉であること、という二つの前提に基づく交渉です。米はイスラエル側に立つ紛争当事者で、安保理決議に拒否権を行使して外交的解決に関する国際的コンセンサ

スの実現を妨害してきたのです。

現在行われている「交渉」は、①イスラエルが西岸地区から必要なものをイスラエルへ統合するが、②「人口問題」を避けるためにアラブ人を統合しない、というイスラエルの計画を米国が支援するという事実を覆い隠す「イチジクの葉」でしかありません。さ

西側大国が生み出した宗派間対立

世俗派と宗教勢力との衝突を建設的な方向でまとめる方法はあるでしょうか。西側諸国はどんな役割を果たすべきでしょう。

C：大国システムが、自分の利益になる場合を除き、宗教的対立に建設的な形で関わることは、歴史的にも論理的にも政策分析からも、プロパガンダ以外の動機から見ても、期待できません。特に西側大国はそうです。MENA(中東・北アフリカ)地域では、西側大国(英国と米国)が、世俗民族主義政権への対抗勢力として急進的イスラムを育成・支援してきました。その筆頭が、ワッハブ派—サラ

フィー主義(説教と戦闘のためのサラフィー)教義を広めようとしている極端なイスラ

らに、③オスロ合意に反してガザを西岸地区から切り離し、非道な封鎖を正当化するだけのことです。

パレスチナに関する見通しは明るくありませんが、アラブの春が放った火花がパレスチナで再燃する可能性はあります。

民衆の力増大と民主主義に一直線に進むという当初の希望は、消え去りました。あの幸福感は間違いだったのですか。いつ・どこで事態が変わったのでしょうか。

C：そもそも、右肩上がりの進歩を希望すべきではなかったのです。アラブの春は重大

ム主義国家であるサウジアラビアです。

米国の「民主主義伝道」に関する優秀な学問的研究があります。学者たちは、「米国の経済的・戦略的利益に合致する場合のみ、米国は『中東民主主義』を支持する」ことを、渋々認めています。

西側の役割ですって？ 簡単なことです。「自由・正義・人権・民主主義」を支持することです。ロシアや中国に関しても同じです。人民の組織力が政府をその方向へ向けたのですが、今ではもうその面影もありません。その理由は多様です。

——宗派間の緊張が高まっています。2004年、ヨルダンのアブドゥラ国王は、選挙

な歴史的発展の一つで、世界の権力者たちを脅かし、た。権力が「我々を政権の座から降ろしてくれてありがとう」と礼を言つて静かに去つて行くことなど、あり得ないのです。

西側の対応は、直接・間接の軍事介入から遠隔操作など、多岐にわたりました。一定のパターンはありませんか。

C：パターンはお馴染みのものです。子飼いの独裁者をできるだけ支援すること。しかし、軍部や経済界が独裁者に反対したり、その他の理由で支援が不可能になると、彼を

によってシリア派が多い新イラク政府ができると、イランからイラク、シリア、レバノンにかけ「シリア派三日月地帯」ができるとして、スンニ派に選挙ボイコットを求めました。このスンニ派—シリア派代理戦争は、中東での諸紛争を理解するレンズになりますか。

C：米英のイラク侵攻の恐るべき結果の一つが、すでに落ちていたスンニ派—シリア派対立に火をつけ、イラクをズタズタに切り裂く恐怖政治を生み出したことです。しかも、中東全体に拡大しつつあります。

正直に言うと、西側の中東政策を見ていると、嫌でも近代国際法の基礎の一つとなつたニュルンベルク裁判を思い出します。ナチを裁いたあの裁判では、軍事侵攻について「全体として種々幾多の悪を蓄積する」という点において他

追い出し、民主主義への愛を語る鐘の音を鳴り響かせ、それからできるだけ完全に元の状態に戻るように体制を立て直すのです。

これは何度も繰り返されてきました。ニカラグアのソモサ、フィリピンのマルコス、ハイチのデュバリエ、インドネシアのスハルト、ザイール(現コンゴ民主共和国)のモブツ等々、帝国主義者のお馴染みの政策で、その構図を見えないようにするのも、お馴染みです。知識人コミュニティがそれを批判せず、反対に権力に協力し、理屈をつけて正当化するので、見えなくなっているのです。

の戦争犯罪と異なる最高度の国際犯罪」と規定されました。この「種々幾多の悪」とは、多くの犯罪や残虐行為の原因となる宗派間対立を指しています。

西側の中東政策は、ロバート・ジャクソン裁判官(訳注：米の司法長官。ニュルンベルク裁判で主任検事を勤めた。彼の名言として、「市民が誤りに陥らないようにするのは政府の役目ではない。しかし、政府が誤りに陥らないようにするのは市民の役割である」)が有名)の言葉を思い出させます。「我々は被告に毒杯を渡す。もし我々が同じ犯罪を犯したら、同じような結果を受けなければならぬ。さもないと、この裁判は一種の喜劇、勝者が敗者を裁くだけの喜劇になる」——西側の倫理的・知的文化と文明の格差を測る尺度は、この言葉がどれだけ大切に守られているか、です。

新しい時代に向かって連帯しよう

株式会社 鹿岩社

代表取締役 松岡 利康

〒663-8178 兵庫県西宮市甲子園八番町二一—三〇一
電話(〇七九八) 四九—五三〇二
FAX(〇七九八) 四九—五三〇九
E-mail matsuoka@rokusaiha.com

月刊 紙の爆弾

編集長 中川 志大

〒101-0061 東京都千代田区三崎町三—三—七〇一
電話(〇三三) 三三三八—七五三〇
FAX(〇三三) 六二二—一五五六六
E-mail nakagawa@rokusaiha.com

いきいきとした地域と暮らしを求めて

(有)広島生き活き農産

広島県福山市柳津町四—七—三三
電話(〇八四) 九三〇—四五四六
FAX(〇八四) 九三〇—四五四七

自動車解体事業もしています
(株)協同自動車

代表取締役 大里 哲久

〒562-0033 大阪府箕面市今宮三丁目一七番二号
電話(〇七二) 七二九—二一八〇
FAX(〇七二) 七二八—二八六六

印刷全般 企画・制作

(有)双葉堂

兵庫県尼崎市東園田町五丁目一—一八—一
電話(〇六) 四九六〇—六四三二
FAX(〇六) 四九六〇—六四三二

能勢農場

大阪府豊能郡能勢町山辺一七三—二
電話(〇七二七) 三四—一七九七

名護市

稲嶺市長
総決起大会

知事の裏切りに抗議
自民党重鎮も応援



注目の名護市長選が12日にスタートするが、再選を目指して立候補する現職稲嶺ススム市長の総決起大会が、8日、名護市「21世紀の森・室内運動場」で開かれた。約3800人が結集し、熱気あ

ふれる集まりとなった。稲嶺市長は仲井真知事の辺野古埋め立て承認に対して、「名護を見捨てた」と厳しく批判。そして「基地押しつけの再編交付金がなくても財政を健全化させた実績」を強調し「辺野古の海にも陸にも新たな基地を造らせない。信念を貫く」と基地建設反対を訴えた。

沖縄選出の国会議員など多くの来賓が挨拶したが、特に注目を集めた人が二人いた。観光業界の平良朝敬氏(会社・かりゆしグループのCEO)は、「観光は平和産業だ。辺野古移設を受け入れると楽園を放棄することになる」と述べ、基地と観光が両立しないことを強調した。

もう一人が、元自民党沖縄県連顧問・元県議会議長の仲里利信氏。彼は沖縄4区で当選した西銘恒三郎衆院議員の後援会会長を勤めた自民党沖縄県連の重鎮である。その彼が、「西銘氏が公約を破棄し、辺野古移設を認めてしまった。私は抗議の意味で後援会長を辞任した。仲井真知事の辺野古移設承認は県民への裏切りである」と述べ、稲嶺市長の当選をめざして毎日名護に通い選挙応援をしている。このように、幅広い層の人たちが稲嶺市長の応援に乗り込んでいる。(4面に関連記事)

編集一言

◆ づら研(生きづらさからの当事者研究会)の例会で、「父親との葛藤」がテーマとなり、自分の父親との関係について、あらためて考え直す機会を得た。私としては、「とっくの昔に整理したはず」と思っていたのだが、あれこれ思い出すことも多く、新たな発見もあった。「暴力的・他人の意見を聞かない頑固者・自分勝手」という自分のなかの父親像が、だいぶ改善された。

お詫びと訂正
前号(12月15日号)6面の「映画紹介」欄で『ある精肉店のはなし』の監督の名前のふりがなが間違っていました。頼瀬(はなぶさ)が正しい読みです。お詫びの上、訂正いたします。(編集部)



2014
迎春

悪事の合法化NO!
回天の新年に

安倍独裁政権を
退場に

●東拘・重信房子

●全国金属機械労働組合
港合同南労会支部

新年に連帯の挨拶を送ります。辺境に在って、いつも貴紙を通して各分野各地の活動を知り、励まされています。原発の「再稼働輸出」、「NBC」、武器輸出原則放棄、秘密法と安倍政権は、『強行した者勝ち』と、危険な新レジームを進めています。悪事を「合法」化していく力に負けず、馬力一杯で闘う回天の新年としましょう。

昨年3月11日、22年間の争議の解決を待ち、19年ぶりに元旦闘争のない正月です。多くの皆さまから厚いご支援と連帯を頂きましたことに改めて御礼申し上げます。

この間、(争議解決は新たなたたかいの出発点)を肝に銘じ、南労会松浦診療所再建とNPO港合同ケアセンターを拠点にした地域運動をめざ

「秘密保護法」
成立しても諦めない

●京都・富名腰 勇
13年のカレンダーは、原発を払い、今年も、暴力的にな

してきましたが、さらに奮闘したいと思っています。

戦争と改憲、原発再稼働、失業と貧困。暗雲垂れ込める今、安倍独裁政権を退場に追い込むため、連帯を大きく広げて闘いたいと思います。

「ならずもの国会」
与党議員は、
バッジをつけた
総会屋(フラカード)

新年はよりいっそう、凶悪な政治がすすめられていくでしょう。しかし一度成立したからといって、諦めるわけにはいきません。

から秘密保護法まで怒りが収まらない事柄ばかりでした。

小さな猫たちの野生に敬意を払い、今年も、暴力的にな

2014年元旦
新年の挨拶
大阪府門真市議 戸田ひさよし

大阪府門真市議の戸田さん訴え
バイクで、2000キロ走破へ

戸田ひさよし
〒571-0048 (鮮烈左翼「革命21」)
門真市新橋町12-18 三松マンション207
電話: 06-6907-7727 FAX: 06-6907-7730

大阪府門真市議 戸田ひさよし

る国家に負けず、今まで以上に気合いをいれて行動したいと思っています。

なかまとともに
生き抜きます

●京都・前進友の会
やすらぎの里

昨年はいへんお世話になりました。しんどいこともたくさんありました。

今年も困難な年になると覚悟しております。

精神病者の患者会としての原点に立ち返り、なかまとともに、生き抜いていこうと決心しています。真の意味での病者解放を今年も目指していく所存です。

今年も反戦・反原発、
非正規労働者の闘いを

●大阪・奥村貴夫

日本を戦争で困る国づくりへとつき進む安倍自民党内

閣、競争社会をとおし、弱者切り捨ての橋下・維新の会等々、悪政がはびこる昨今、今年も微力ながら反戦、反原発、反差別、そして非正規労働者の闘い支援等、可能な限りとりくみたいと思っています。

帰国実現の闘いで「日本見直し」の一翼を

●平壤・かりの会

「秘密保護法」強行で、民意に敵対してまでも「戦争のできる国」をめざす安倍政権との「日本見直し」をめぐる対決の年、私たちは「よど号問題」見直し帰国実現の闘いで、ささやかながらその一翼を担う決意を新たにしています。

※その他、たくさんの方から年賀状、新年あいさつをいただきました。紙面を借りて御礼申し上げます。(編集部)

謹賀新年 2014年も共に頑張りましょう!

これから原発にNO!を言い続けます よつ葉ホームデリバリー川西 兵庫県宝塚市山本丸橋二一〇九 電話(〇七二)八一一三三七八 FAX(〇七二)八〇一〇八三二	逆流に抗し足元からの変革を 関西よつ葉連絡会 〒567-0827 大阪府茨木市稲葉町四一五四F 電話(〇七二)六三〇一五六一〇 FAX(〇七二)六三〇一五六〇六	地域から「もう一つの世界」を構想・展望しよう! つくられた「分断」を乗り越えて連帯しよう! 豊中市議会議員 木村 真	暑さ寒さも彼岸まで、かい 森下 雅喜 大阪府高槻市玉川一六二〇二	みんなで創ろう みんなの仕事! 特定非営利活動法人 関西仕事づくりセンター 〒530-0044 大阪府北区東天満一〇一〇二 電話(〇六)六八四一八三〇二 FAX(〇六)六八四一八三〇二	「つづられた分断」を乗り越えて 連帯・団結しよう! 北大阪合同労働組合 豊中市岡上の町二丁目五二二八二F 電話(〇六)六八四一八三〇二 E-mail:kiagodo@ymail.plala.or.jp 大阪府高槻市城西町二一〇一 電話(〇七二)六七五一一九九九 E-mail:kiagoudu@cream.plala.or.jp
--	---	---	---	--	---